

委員会だより

<9月5日(日) 9名出席>

【1】財務報告：99年7,8月度決算報告

(単位: 円、括弧内数字は99年度年間予算)

	99°収入累計	99°支出累計	収支差額
一般会計	5,509,609 (6,367,268)	4,368,716 (6,267,268)	1,140,893 (100,000)
建設会計	4,121,906 (3,245,476)	728,700 (2,873,000)	3,393,206 (372,476)
愛の献金	743,618 (861,749)	327,950 (520,000)	415,668 (341,749)
信徒預金	191,847 (841,673)	109,702 (680,000)	82,145 (161,673)

特記事項：◆一般会計：神父様から特別献金¥176,000(7月)、¥45,000(8月)、敬老会仮払¥100,000(8月)
◆建設会計：集会室エアコン2台設置(¥383,250)
◆信徒会計：卓球大会仮払 ¥50,000(7月)、バザー材料費仮払¥50,000(8月)

【2】議題：

- (1) 湘南短期キリスト教セミナーの件
来年度は中和田教会が当番教会だが、従来から進めてきた検討結果に基づき、「参加者の収容能力」の点から開催不可能な故辞退する旨事務局に回答した(七浦さん)。
- (2) 敬老のお祝い：
◆本年度対象者は最終的に54名。
◆本年度はミサの前に、ミサの意向を説明し、対象者の名前を讀上げる。
◆記念品は、ミサ後の記念撮影終了後、お聖堂出口でお渡しする。
◆記念品は、阿部さんと位田さんが既に準備済。
◆サロン司会、余興など、当日の下準備必要。
- (3) バザー準備状況(9/4バザー委員会報告；福島さん)：
 - 1) 食品：
カレーライス150個×300円 やきとり500本×300円(5本)
おでん100個×200円 やきそば100個×200円
おしるこ150個×150円 やきいか100パイ×250円
ケーキ紅茶150個×150円
 - 2) 依託販売品：クッキー、うどん、赤飯、お茶、椎茸、花、身障者施設製品、パングラデシユ雑貨
 - 3) バザー券賞品：
特等：1本陶器 1等：4本買物券¥5,000×4
2等：4本食事券¥3,000×4 3等：4本買物券¥2,000×4
4等：4本ビール券(3枚)×4 5等：12本テレカ¥500×12
6等：200本ティッシュ(150)、他(50)
 - 4) その他：◆コンロ(2台)の購入を検討する。
◆集会室の冷蔵庫が冷えない(故障調査、中古品購入調査)。
◆バザー券の抽選方法を宝くじ方式で検討する。
◆青年会の催し物を相談する。
 - 5) 今後の日程：9月18日(土)バザー券作製、10月10日(土)チラシ作製、9月19日(日)バザー券販売開始、食券作製、10月11日(日)チラシ配布、9月26日(日)食券販売開始、10月30日(土)バザー準備、10月2日(土)バザー委員会、10月31日(日)バザー当日、11月7日(日)反省会
- (4) イルカグループ夏季学校の報告：石井さん欠席の為別途。
- (5) 現在の「青少年友の会」を正式組織としてはどうか：
◆小野寺先生ご意見 ⇒ 青年達が動き出してきている。(手紙を付け会報発送、他教会との交流(茅ヶ崎、二俣川))
◆「形をつくって見えるようにする」ことを委員会として助力したい。

- ◆今、正式組織として発足することは時期早尚かも。
- (6) 横浜司教区司教館の建設資金：目標額の半分程度しか集まらなかった由。また、何かあるかも....

壮年会だより

<9月19日(日) 9名出席>

- 6月は聖堂内椅子の修理、7月は草刈りと奉仕作業が続きました。久しぶりの例会でしたが、出席者数がいまいちなのが残念至極。
- (1) 教会委員会の報告は会長不在のため、小野寺さんをお願いしました。敬老会及び青少年問題の流れ等について報告がありました。
 - (2) バザー委員会。福島さんより大筋の説明があり、特に今年はともすればマンネリ化していると思われる賞品抽選会を、いかに工夫し活性化してバザーの雰囲気をも上げるか、色々模索中とのこと。何か名案がないか募集中。
 - (3) 壮年会のバザーの取組み。毎年の焼鳥、焼イカ、焼きそば等好評の売店については従来通り取り組みたい。については各担当を例年経験された方々に御協力頂けるよう個々をお願いする予定。今年は何か美味しい新製品が出て来る話が浮上している?
 - (4) 10月の聖書朗読奉仕者を互選決定。お願いしました。
 - (5) 9月中旬平瀬会長転出の予定。従って本年度役員の内、内、会長については空席のままとし、年内は補充変更は行わないことになりました。来年1月の総会まで現体制で臨みますが、力量的に心もとないもので、瀬谷区二ツ橋81(391-5897)にお住まいの、フランススコサレジオ下村毅さん(お仕事の都合で早ミサではお馴染みの方)に入会して頂き、お手伝いをお願いした処、快くお引き受け下さいました。トロイカ体制で頑張りますので、宜しくお願い致します。

「雑談コーナー」

小谷さんのお嬢さんが、どこぞの作品展で見事入賞された木彫製品が披露されました。掌サイズの可愛い人形で、名付けて「ペンギンの聖歌隊」。森や林といった自然の片隅にある、ごくごく平凡な素材の中から木目、形に優しい目を注いで選び出し、丹念に加工された木芸品で、掌に温もりを感じさせ、揃いの燕尾服が何んともあどけない見事な作品でありました。



婦人会だより

<9月19日(日) 33名出席>

- ◆委員会報告
- ◆バザーについて
 - ◆自主制作品は10月17日(日)までに提出して下さいようお願い致します。
 - ◆紅茶と砂糖がありましたらご寄付下さるようお願い致します。
 - ◆バザー当日、早朝のお手伝いを有志の方をお願い致しました。宜しくお願い致します。
 - 位田様、中谷様、中島様、花坂様、八乙女様。
 - 尚午前7時からお手伝い頂ける方は宜しくお願い致します。
 - ◆値付け作業は10月21日(木)午前10時より行います。ご協力宜しくお願い致します。
- 注：午後も行いますので昼食をご持参下さい。
- ◆バザー当日のお手伝い分担表を張り出しますのでお名前をご記入下さい。
- ◆江尻迪子様が一年間転出されます。

次回例会は10月17日(日)、次回当番はA地区です。

今月の予定

委員会	10月 3日
世界宣教の日	10月 24日
バザー	10月 31日
サロン	10月10, 24日
レジオ	8, 15, 22日



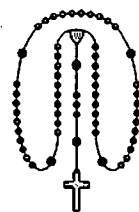
第251回

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
1999年 10月 3日



遠い道 ④

山崎 正俊



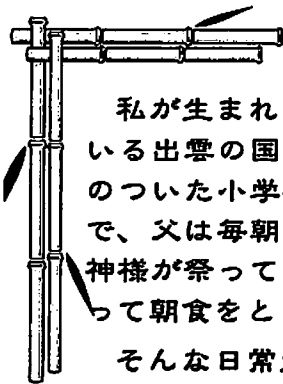
「日暮れて道遠し」とは、よく云われていることです。これはのんきな言いぐさでも、どうにもならない。ときには精神を集中しての努力が必要なことから、そのことをわきまえても、遅れながら追いかけることになる。そうすれば、思いがけなく、それが道順をととのえさせることになる。有難いこと、よい実を結ばせることになってくれる。

書物を読むことは、時間つぶしか浪費か。或る哲学者など、そのように嘆いてもみせるようでも、必ずしもそうではない。視点を変えることが、あるいは、勘違いが、突然の深遠を見せてくれる。天才と狂人の間に、紙ひとえの差言葉の綾のくいちがいがかさなる。果物の腐れが「成熟」と見誤られるかと思えば、成熟の印とされていたものが、どうにもならない「迷妄」であったりする。

万有引力のことや、この私たちが住んでいる丸い地球が、広がりつつけている大宇宙の中に浮かんで動きつつけているとか、むつかしい理論も、まして、観点の変動などが、新発見の端緒になっているなど、どうしたことだろう。歴史家たちが、大航海時代などと名付けたりしているような、その始めの驚きなど、どんなものであったろう。いまでは、大笑いの出来事だと、片付けられそう。

ああ、昔は、月には、気の優しい兎が餅をついていたものだった。月は満ちたり欠けたりしていた。「竹取り物語」などという大ロマンは、たいした創造力の報いではなかったか。人々はそのようにして、そこにある心の憂いを解いていたらしい。自然のうつりかわりは、こうして 生きている者に生命の糧を添えていた。私もどれほどの気力を与えられたものか。その気候風土が、その土地柄を造り育てたと云われているのも、偉大ないとなみだと私なども教えられたり、たよりにしたりしたものだった。そのときいた場所や、まわりにいた人たちの生き様が、私の在り方をととのえさせてくださったのだとは、どんなに有難いことであつたのか、はかり知れないものがある。それは単なる物理的なものではない。その受け留めかたによっては、霊的な偉大なものが加わることになる。自分の才能や生まれつき、努力の度合いによるなどは、とんでもない思い違いか、うぬぼれによるものと云える。同じ処に共に居るとしても、異った進展があるのは、何によるのか。時間の長さも、どのように過ごしているのかによって、その意味はまったく別のものになる。

以前は、長く生きていたことが、それだけの良さであると思えたものだが、実は、何を感じとっていたかによって、その値打ちに別のものが加わり、まわりの「もの」にどんな「意味」を及ぼしていたか、その「もの」の吸収力とかで、何かの違いが生じるのだと云われてみると、私の生き様も、余程の反省がともなわないと、思いがけない横道に連れこみ兼ねないことになる。そこには云うならば、「生命の与え主」の受け留めかたによっては「恥ずべき事の至り」となり、心しないと、なんの痛みも感じないうちの、「他の者のつまずき」のもとを避けようとの、平常からの祈りと在りかたなど、どれほどのものか、むずかしいことよ。



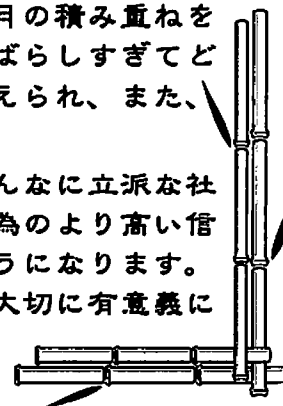
私が生まれました地は、やまたの大蛇の退治、因幡の白兎などの古事記の神話の舞台となっている出雲の国です。簸川平野の真中で、海の幸・山の幸に恵まれたのどかな地です。やっと物心をついた小学校二年生の時、日本は太平洋戦争に突入しました。出雲は大変封建性の強い土地柄で、父は毎朝近くの氏神様で、出征していた二人の兄の武運長久を祈願し、帰宅後は出雲大社の神様が祭ってある神棚を拝し、次に仏間で仏壇に向かってご先祖様にご挨拶をしてから、家族揃って朝食をとるといような習慣でした。

そんな日常生活の中で迎えた中学時代は、敗戦の貧しさ、食糧難、物資不足という中で育ちました。そんな苦しい生活の中で、長崎の原爆で、二百数十名の愛する教え子を失い、その殉難された教え子に変わって被爆者のため余生を捧げると、自らの原爆病にもめげず努力している叔母の信仰生活、松江在住の叔母夫婦の信仰生活に感化され教会の門を叩きました。

島根大学に入学してから、この大学の前身、旧制松江高等学校の卒業生であった長崎医大の永井隆博士の感動的な信仰生活にひかれ、学生時代はカトリック信者の少ない大学内でまずカトリックをつくり、カトリック学生連盟に加盟するなど大学・教会内での学生活動に熱中いたしました。大学の学園祭で、切支丹展と永井展を計画し、切支丹研究史で有名な長崎純心女子短大教授(副学長)の片岡弥吉先生からキリシタン迫害時代のいろいろな資料を、また、永井先生の御令弟から永井博士直筆の絵や本の原稿等を拝借して展示いたしました。大変な好評で、最初は反対されていた神父様にも喜んで戴き、神父様のポケットマネーで打ち上げ祝いまでしていただきました。そのことは、私の青春時代の最大の喜び・思い出の一つであり、今も忘れることが出来ません。

松江から、この地中田町に移り、こちらの教会にも長い間お世話になっております。教員生活も四十年余り、理科(特に生物)を専門としています。この地球上で生息している肉眼では見えない微生物から高等動物の我々人間に至るまでの生物体の構造・機能がみごとに創造されている様子を探究し、理解していけばいくほど、このすばらしい創造物が、ただ長い長い年月の積み重ねをベースにして次第に環境に順応し進化してきた結果と考えるには、あまりにもすばらしすぎてどうしても納得できません。そこには、やはり創造主の無限の働きがあるように考えられ、また、そのように理解しています。

しかしこのすばらしい創造物にも必ず終わりや、死が訪れます。どんなに立派な社会でも、医学が進んで高齢化になってもです。これらを平安に迎える為のより高い信仰生活が今の私の課題です。これから一年一年体力の衰えを感じるようになります。そんな中で、焦らず、慌てず、ゆっくりとお迎えの時迄、一日一日を大切に有意義に過ごしたいと思う今日この頃であります。



一口に環境問題と言っても地球規模の問題から身近な環境問題まで多種多様な様相があります。このコーナーではこれらを形態別に纏めると共に、私達の生活との関わりを考えてみます。

地球温暖化

地球温暖化は石炭や石油等に代表される化石燃料の使用によって生じる二酸化炭素(CO₂)のような温室効果ガスに起因するものです。

温室効果ガスは私達の日常生活の中で使われるエネルギーにより急増しており地球温暖化がこのまま続くと、次のような影響等が考えられます。

- 南極の氷塊が溶け出し、海面上昇で土地の水没
- 内陸部の砂漠化による「干ばつ」
- 穀物の生産や漁業へのダメージによる「飢餓」

オゾン層の破壊

オゾン層は太陽からの有害な紫外線から私達を保護してくれますが、大気中に放出されたフロンガス(クーラーや冷蔵庫の冷却媒体等に使われている)が、このオゾン層を破壊すると破壊によって出来たオゾンホールから入り込む有害紫外線により皮膚ガン等の影響が出ます。フロンガスの回収率向上やフロンによって替わる物質の開発が急がれています。

省 資 源

地球資源は有限です。古新聞や空き缶等「資源ゴミの分別回収」により廃棄物の削減に努力する必要があります。ゴミの分別回収は再生利用(リサイクル)を通しゴミを資源化出来、結果的にゴミの量を減らす事になります。又、古紙を使ったトイレットペーパー、再生コピー用紙等リサイクル製品(再生品)の利用も有効です。

省エネルギー

身近なエネルギーとして「電力」、「水」があります。照明、エアコン、テレビをこまめに消して節電すると共に、節水に心がけ省エネルギーに努めましょう。

ダイオキシン

環境ホルモンは「内分泌攪乱化学物質」と言われていますがその代表的なものが「ダイオキシン」です。塩素を含んだ化合物、例えば塩化ビニルなどが入ったゴミを焼却工場で焼却すると微量のダイオキシンなどの有害大気汚染物質を生成する場合があります。

ダイオキシンは「非意図的人工化合物」の中で極めて毒性が強く食物等を経由してヒトの身体に蓄積し、次世代までその有害性が残り障害児の出生等の影響が出る場合もあります。ゴミの分別により可燃性のゴミに含まれる「塩素の素」を除く事が必要です。また、そういった要素を持つ商品は買わない工夫が必要です。

森林破壊

過剰な木材資源の伐採などで多量の熱帯雨林が減少しており、砂漠化の進行など地球環境に悪影響を及ぼしています。古紙の回収、再生等で樹木を無駄にしない心掛けが必要です。

酸性雨

石炭や石油などが燃焼する時に生じる硫酸化合物や窒素化合物などが雪、霧、雨などの水滴に溶けて酸性雨となり、土壌や植物に悪影響を及ぼしています。

この酸性雨によって樹木の衰退、湖沼や河川の酸性化による魚類等の生態系への影響が心配されます。

海洋汚染

廃棄物の不法投棄、河川からの汚染物質の流入などで海洋汚染が進んでいます。海の洗浄能力を超える汚染は生態系に悪影響を及ぼします。

生活雑排水による河川の汚れを防ぐ為、シャンプーや洗剤は「無リン」のものを使用しましょう。リンが海に流れると赤潮が発生し、魚貝類が悪影響を受けます。又、廃棄物に含まれる鉛、カドミウム、水銀といった重金属が魚貝類を経由して人体に影響を与えます。

以上環境問題について総括的に述べました。これらのことから言えることは、我々信者はキリスト者として、環境を率先して守らなければならないという認識、理解をすることが肝要ではないでしょうか……。

引き継ごう緑豊かなこの地球、未来を拓く子供たちに!!



ミサ 当番表 (99年10、11月)

月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン
10/3	年間第二十七主日	壮年会	大 宮
10/10	年間第二十八主日	青年会	美 底
10/17	年間第二十九主日	婦人会A地区	森 田
10/24	年間第三十主日	壮年会	大 宮
10/31	年間第三十一主日	婦人会役員	美 底
11/7	年間第三十二主日	壮年会	森 田
11/14	年間第三十三主日	青年会	大 宮
11/21	王であるキリスト	婦人会B地区	美 底
11/28	待降節第一主日	壮年会	森 田

※ 当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: TEL 802-6258)までお申し出下さい。

お知らせ

- 初 聖 体** 8月15日(日) 洗礼者ヨハネ 高木 潤也
- 御 逝 去** 9月11日(土)
 ◆ミカエル 根本 誠二
 ◆ペトロ 中 有策(石井さん義兄)

- 転 出**
 ◆ヴェンチェスラオ 平瀬 晃 山城教会
 〒406-0807 山梨県東八代郡御坂町二之宮453
 Tel. (055)261-2103
- ◆アロイジオ 武田 光信 ひとみ
 〒245-0067 戸塚区深谷町1647-63 深谷ハイツ202

信徒名簿訂正
 P.9 宮崎佐喜男 中田南4-19-18(誤) ⇒ 4-19-38(正)

